

公共交通対策の改善方策(案)について(交通結節点・利用促進策)

現状と課題

- ❑ 松橋駅を通る系統の18.4%(上り)、下り(39.5%)の割合でJRで接続しているが、どの程度の接続率が望ましいか。また、松橋駅行のバスとJRとの接続率向上の検討は必要はないか。
- ❑ 松橋駅周辺を運行するバスがあるものの駅前(近く)に停車してしない。
- ❑ 自転車による通勤・通学者の多さや送迎時間帯には送迎自動車が珠数つなぎになるほどの渋滞が発生。
 - 通勤・通学の時間帯に特化した循環バスの必要性。(既存系統の代替や小型バス運行の検討)
- ❑ バスの乗車より松橋駅への送迎車が圧倒的に多い状況から、どの方面からの送迎が多いのかの調査が必要ではないか。
- ❑ 高齢化の進展による免許返納者が増加する中で、これらの方々が公共交通機関の利用を促すための対策が必要ではないか。

対応策

- ❑ 通勤・通学の時間帯における接続率の検討、JR出発時刻に合わせた系統の見直しが必要。(高校生や保護者含む市民ニーズ調査の実施)
- ❑ 松橋地区内(主に駅周運行系統)のバス系統の見直し
- ❑ 学校、病院、行政機関等を結ぶコミュニティバス(地域循環バス)を運行させることが必要。
- ❑ 既存系統の代替方策の検討。
- ❑ 平成28年11月の利用者アンケートの分析に加え、JR降車客の目的地や未利用者に対する意向調査が必要。
- ❑ 市民ニーズ調査の中で免許返納者や買い物弱者の観点からの公共交通対策を検討。

公共交通対策の改善方策(案)について(駅前賑わい創出)

現状と課題

対応策

松橋駅前の賑わいの創出方策について

- かつて松橋駅の比較的近い場所に産交バスの停留所があり、昭和30年に移設したことにより、松橋駅東口界隈が空洞化。
→ バスターミナル（ロータリー）の移転は松橋駅東口活性化の起爆剤となるか。
- 松橋駅周辺に店舗が少なく暗いため、活気に欠ける他、防犯面での心配が多い。
- 松橋駅前にバスターミナルを設置するのであれば、市としての大きな絵（パース図）を描くことができれば民間の協力も得られやすいのではないか。
- 必ずしもバスターミナルを設置する必要があるか。バスロータリーを設置すれば十分ではないか。
- 松橋駅前に待合室等やカフェ等の待機場所が必要ではないか。
→ 楽しく待てる、一定の時間をくつろげる空間が必要。

- バスターミナルの松橋駅前の移転可能性の検討。
- 仮に移転の必要性があるとするば、各関係者の合意の下、どのようなスキームで行うべきかの検討。
- カフェ、ファーストフード等の進出を促進させるための空間の提供。
- バスターミナルを核とした松橋駅前活性化推進に係る全体構想（又はパース図）の策定が重要。
- バス事業者、商店関係者、地域住民の意見を聴取し、ニーズを踏まえた施設等の整備。
- 乗降客が一定時間、待機できる場所を設置することが必要。（カフェ、ファーストフード、イートインスペース等の入居できるスペース（施設）の確保。）